

お知らせ

2021年1月12日（火）

# 「電停共有支援システム」を搭載した路面電車、バスの電停乗り換え体験の試乗会を開催



～ 「ひろしまサンドボックス」実証プロジェクト ～

中電技術コンサルタント、広島大学、東京大学、自動車技術総合機構交通安全環境研究所、広島電鉄、マツダの産学官6者で構成するコンソーシアム（代表者 中電技術コンサルタント）は、広島県の「ひろしまサンドボックス」に参画し、安全で利便性の高い公共交通環境の実現を目指す「通信型ITSによる公共交通優先型スマートシティ構築事業」の実証プロジェクトを2019年2月から取り組んでいます。

広島市の都心部では、路面電車、バスなどの公共交通を多くの方々が利用しています。コンソーシアムでは、広島市民や観光客等の利用者に市内の公共交通をより安全・快適に利用して頂けるよう、路面電車とバスの利用者が電停を利用し、電停で乗り換えが出来る仕組みを試行しました。この取り組みでは、通信型ITSを活用し、バスの運転手に安全な軌道敷への進入、走行、電停の停車、車道への退出をモニターと音声で知らせ、また、路面電車の運転士にバスが軌道敷に進入、走行、車道退出していることモニターと音声で知らせる「電停共有支援システム」を開発しました。（別紙1,2参照）

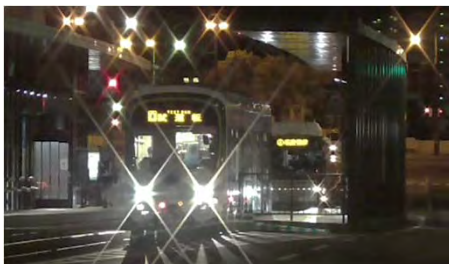
この度、「電停共有支援システム」を搭載した路面電車とバスが、同一軌道敷内を走行し電停で路面電車とバスの乗り換えを体験して頂く試乗会を開催し、多くの関係者、報道機関の方々に参加頂きました。「ひろしまサンドボックス」の実証プロジェクトは、2021年2月26日（金）に成果発表会を行い同年3月に終了予定です。コンソーシアムでは、通信型ITS技術を活用した実証実験に引き続きトライし、広島都心部での「来たくて・住みたくなるスマートシティ広島」を目指す予定です。

【成果報告会プレイス】 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000125.000037194.html>

## ■ 試乗会の様子（2020年12月4日（金）～5日（土））



概要説明の様子



軌道敷内走行の様子



バス（前）、路面電車（後）電停共有の様子（広電本社前電停）

問い合わせ先



中電技術コンサルタント株式会社

TEL : (082) 256-3353

URL : <https://www.cecnet.co.jp/>

交通・都市本部 道路交通部

山崎 俊和（やまさき としかず）

西野 孝晴（にし の たかはる）

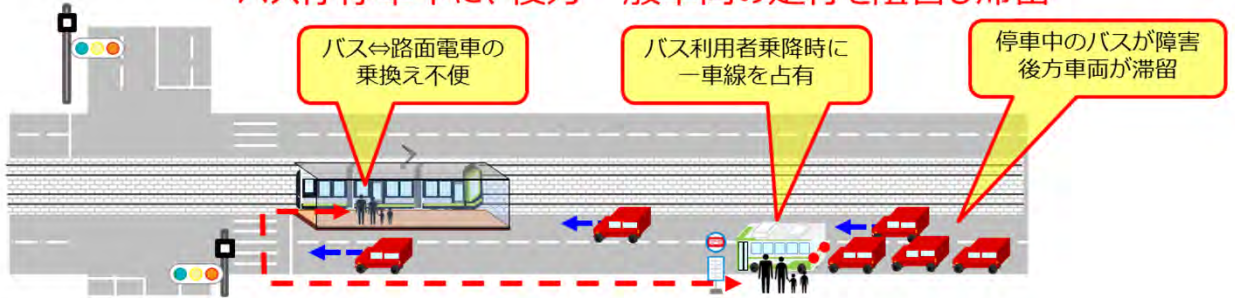
難波 秀太郎（なんば しゅうたろう）



## ■ バスと路面電車が電停を共有する目的

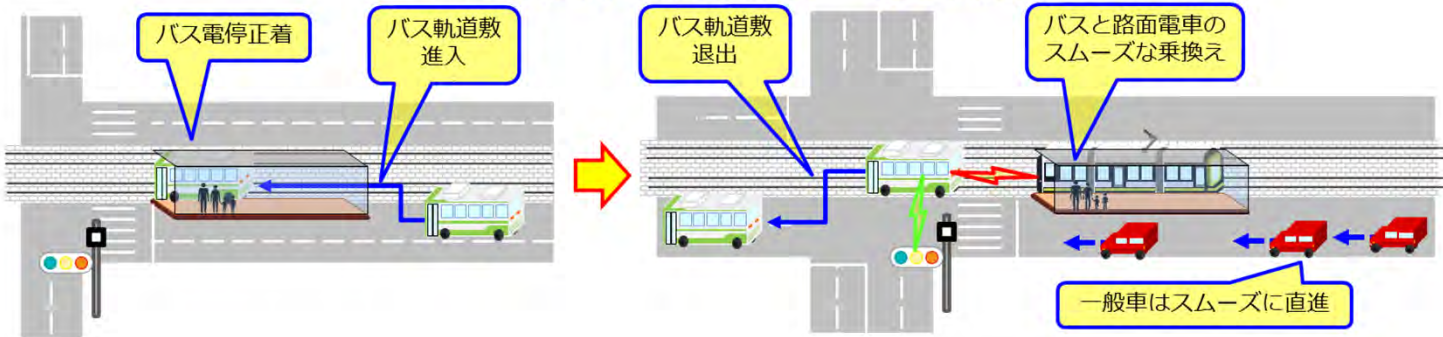
(現 状)

- 電停とバス停は別々 → 利用者の電停からバス停への乗継移動距離が長い  
バス停停車中に、後方一般車両の走行を阻害し滞留



(将 来)

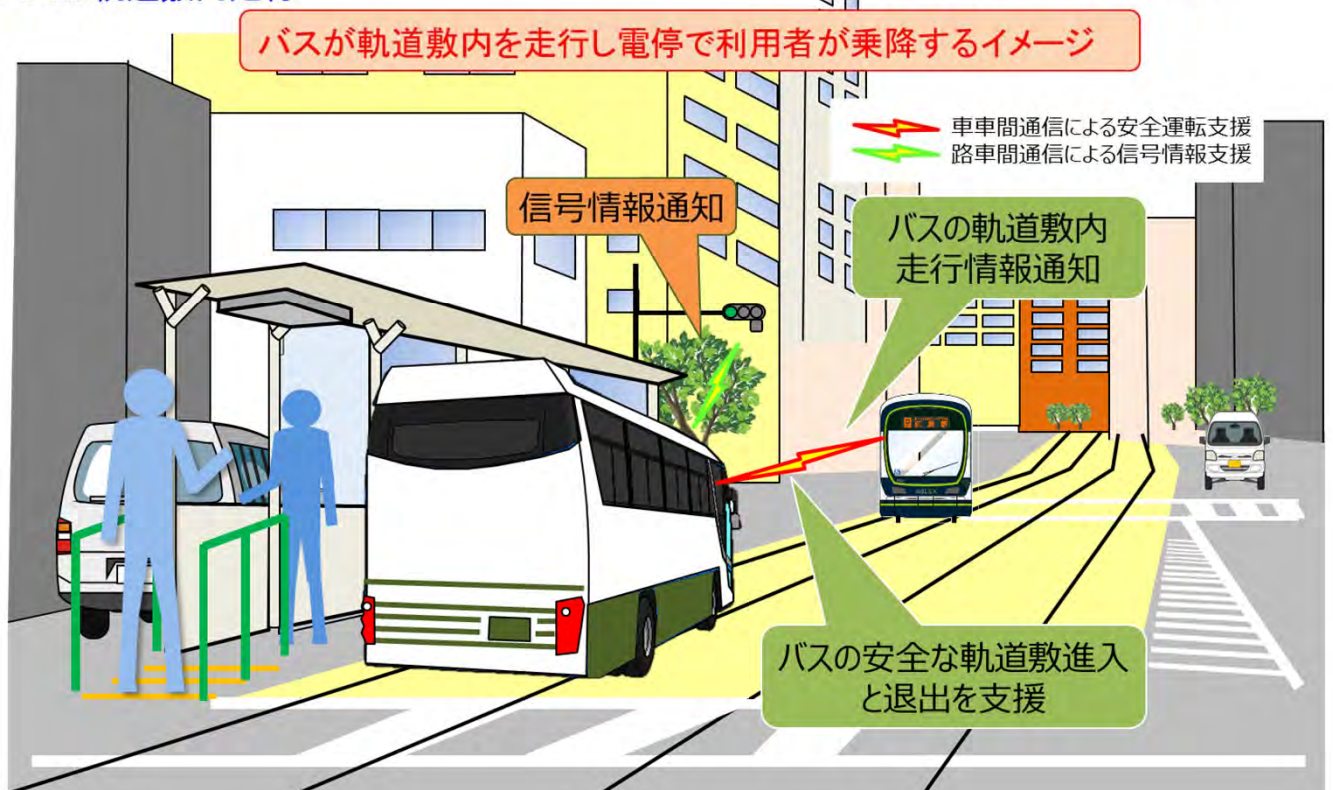
- 電停とバス停が一体化 → 利用者の乗り換移動が無く利便性向上  
車道のバス停車が無くなり、一般車両はスムーズに走行



## ■ バスが軌道敷を走行する際の支援のイメージ

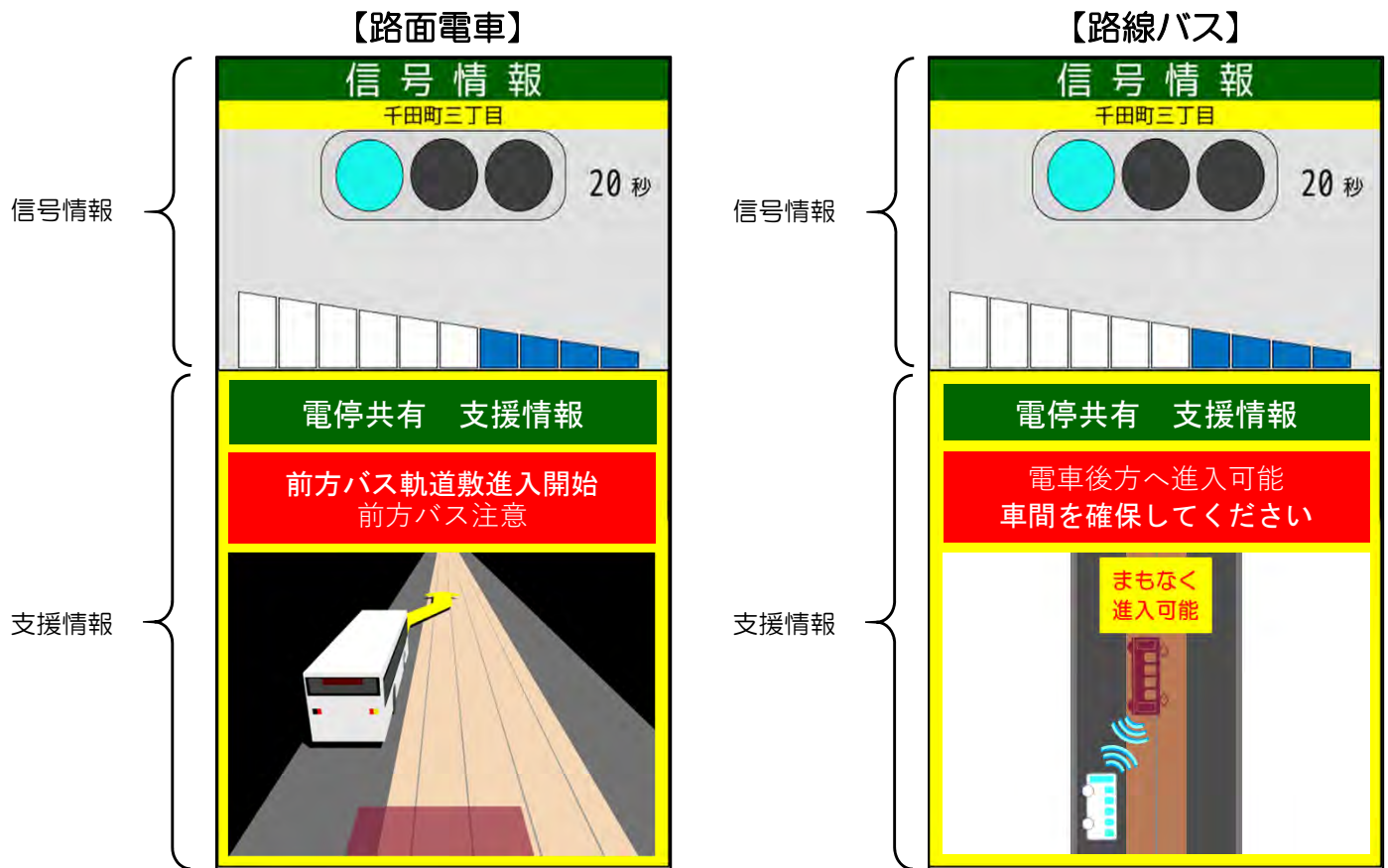
- 広島市民に優しい公共交通の運行、都心部の渋滞・事故削減に向け道路空間（軌道敷）を有効活用  
⇒バス停と電停の一体化  
⇒バスの軌道敷内走行

- ひろしまサンドボックスで、  
⇒電停共有支援システムによる安全なバスの軌道敷進入・退出と、路面電車の運行を実証検証





■ 支援モニター（例）



■ バスが路面電車の前で軌道敷内に入、走行し電停に停車する場面

